エ 豊見城市ジュニアリーダー イサー交流 10/10～13

10月10日から13日まで沖縄県豊見城市のジュニアリーダーが来町し、町内の小学生らとエイサー指導やモルックによる交流が行われました。エイサー指導では、大太鼓やパーランクーのたたき方、腕角度や足の運び方、掛け声など、より細かな部分まで指導。子どもたちは、楽しみながらも真剣なまなざしで練習を繰り返していました。

上野小学校5年の戸髙桃吾（とうご）さんは「ワンランク上の差を見せてもらった。知らない振付けを覚えられてよかった。これからもエイサーを続けたい」と話し、ジュニアリーダーの東泊愛果（あいか）さんは「教える難しさもあったけど、小学生が少しずつ振りを覚えていくのを見て嬉しかった」と話していました。ジュニアリーダー達は槻觸神社秋季大祭のパレードにも参加し、力強い太鼓で沿道の観客達を楽しませていました。






秋の実りに感謝 刈り体験 10月

たわわに実った稲穂が収穫期を迎え、町内各小学校で米刈りを行いました。

地域の方や保護者、JA青年部の協力のもと、鎌の使い方を教わった子どもたちは、一斉に手刈りを始めました。小学校によってはコンバインやバインダーの操作を体験したり、束ねた稲の掛け干し作業も行っていました。最初は慣れない作業に苦労してましたが、徐々に手際よく作業を進めあっという間に終わっていました。田植えから稲刈りを通して、米を作る苦労や収穫の喜びを体験することができました。













租 税について学ぶ 税教室 9/28

押方小学校で租税教室が行われました。

鈴木孝税理士事務所の鈴木孝さんを講師に迎え、税金がどのように使われているか、税金がなくなったらどのように困るかをアニメを使って説明。

生徒らは、税金の種類やどのように使われているかを説明をうけると、驚きながらも真剣に聞いていました。生徒たちは「税の大切さと仕組みがよく分かった」と話していました。

学 音楽を身近に感じる 校と地域を結ぶコンサート 10/8

津軽三味線奏者の村上三絃道によるスクールコンサートが高千穂高校で開催されました。

本年は押方小学校に続き2回目の開催となり、地域の方も含め約370人が力強くも繊細な津軽三味線の音色に聴き入っていました。3年生の都太成さんは「思ったよりも重くて驚いた。津軽三味線を初めて弾いてみたが、独特な音色に感動した」と話していました。







主 より良い投票を学ぶ 権者教育出前授業 10/13

高千穂中学校で主権者教育出前授業が行われました。主権者教育アドバイザーの吉村功太郎さんを講師に迎えて、若者の投票率低下がもたらす影響や、若年層の政治・選挙に関する意識を身近なアニメなどを例に挙げて説明。また、ワークシートをもとに実際に自分が立候補したという設定で、公約等を考えていました。

安在昴琉（すばる）さんは「今日の授業を受けて、選挙に対してよいイメージがわいた。若い人、高齢者の意見を聞いて総合的に考えることが大事だと思った」と話していました。